



舞台芸術を「つくる人」「みる人」のための国際ミーティング TPAM in Yokohama 2014 開催 !!

会期：2014年 2月8日（土）～ 2月16日（日）

会場：ヨコハマ創造都市センター（YCC）、KAAT神奈川芸術劇場、BankART Studio NYK、
横浜赤レンガ倉庫1号館、STスポット、他

- 舞台芸術のプロフェッショナルが「みたい」「みせたい」パフォーマンスが集合！
- これからの活動が期待される新しい才能と出会う機会！
- 日本最大の舞台芸術の国際的なネットワーキングの場！

TPAM（ティーパム）は、舞台芸術のプラットフォームです。今回で18回目を迎え、横浜での開催は4回目となります。舞台芸術を「つくる人」である、アーティストやプロデューサー等が国や地域を超えて一堂に会します。「みる人」である、観客の皆様も、第一線で活躍中の若手ディレクターが選ぶ、新進気鋭のアーティスト達の公演や、普段なかなか出会うことのない海外の先鋭的な公演等様々な作品を一挙に観ることができます。

参加アーティスト

蓮沼執太
 範宙遊泳
 筒井潤
 伊藤キム×山下残
 白神ももこ×酒井幸菜
 濱田英明+瀧澤日以+柴幸男
 坂本公成
 エルヴィ・シレン（フィンランド）
 ショーネッド・ヒューズ（イギリス）
 ジョリス・ラコスト（フランス）
 チョン・ウニョン（韓国）
 シャオ・クウ&チョウ・ツウ・ハン（中国）

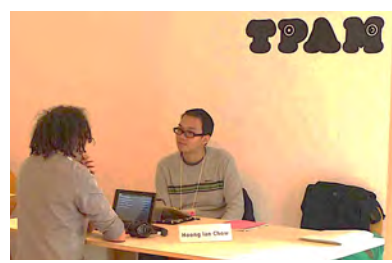
他

TPAMのしくみ

TPAMは、舞台芸術を「つくる人」対象のネットワーキング・プログラム、舞台芸術を「みる人」、「つくる人」の両方が楽しめるショーイング・プログラムの2種類のプログラムからなります。

ネットワーキング・プログラムは、「つくる人」である舞台芸術のプロフェッショナル同士の情報共有、ディスカッション、ネットワークの構築機会となるプログラムです。

ショーイング・プログラムは、「TPAMディレクション」「インターナショナル・ショーケース」「TPAMショーケース」の3つの枠組みからなる公演プログラムです。作品を鑑賞する形でみなさまにご参加頂けるプログラムです。



TPAM2013の様子 左・中央 ©Hideto Maezawa

本プレスリリースに関するお問い合わせ

国際舞台芸術交流センター（PARC） 広報担当：山崎奈玲子（やまざき・なおこ）

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-1-2-3F

Tel：03-5724-4660 Fax：03-5724-4661 Mail：yamazaki@tpam.or.jp Web：www.parc-jc.org

TPAMディレクション ①

ユニークな活動を行っている若手制作者をディレクターに選任、自由なコンセプトと新たな視点で作るプログラム。今回は4人のディレクター選び、彼らが自身のコンセプトをもとにアーティストと組んで公演を行います。

野村政之ディレクション

蓮沼執太 『作曲：ニューフィル』

2/11 (火・祝) 17:00 @KAAT神奈川芸術劇場 ホール



©Takehiro Goto

電子音楽家として単独で活動を開始した蓮沼執太は、2010年から、缶詰の缶を裏返すように、ヘッドホンの中のプライベートな時間を、共有されるパブリックな場へと反転・開封、タイムラインを多様な演奏家（プレイヤー）に置き換え、表現領域を横断する演奏活動を通して、「フィル」というコミュニティを形成しました。いわば〈風景〉として立ち上がる上演において、観客はその受け手として従属するのではなく、かといって主体的に場を構成するのでもなく、プレイヤーたちと同様に、それぞれの時間を携えたまま佇み、出逢い、共有することができるのです。

範宙遊泳 『幼女X』

2/12 (水) 16:00 | 2/13 (木) 14:30 / 20:00 @KAAT神奈川芸術劇場 中スタジオ



©amemiya yutaka

『幼女X』は、日本社会の内側にある様々な分断と震災後の生命観を、シンプルに銜いなく演劇のフィクションに結晶した中編です。自ら生命を捨て去ろうとする若者が祈る「これから産まれてくる生命の安心」に、生き続ける私たちは応えられるでしょうか。



のむら まさし こまばアゴラ劇場 制作

1978年長野県生まれ。公共ホール勤務を経て、こまばアゴラ劇場・劇団青年団に在籍。並行して若手演出家の活動に様々な形で参加。ドラマトゥルクを担当したまごど『わが星』（2009）、サンプル『自慢の息子』（2010）が岸田國士戯曲賞受賞。他に岡崎藝術座『（飲めない人のための）ブラックコーヒー』（2013）制作、蓮沼執太+山田亮太『タイム』（TPAM2012）プロデュースなど。

横掘ふみディレクション

筒井潤+新長田で踊る人々 『新長田のダンス事情』

+

ショーネッド・ヒューズ 『Aomori, Aomori』

2/13 (木) 16:30 | 2/14 (金) 16:30 @KAAT神奈川芸術劇場 大スタジオ



『新長田のダンス事情』

『新長田のダンス事情』のプロジェクト・コンセプトは「新長田で踊る人に会いに行く」、2009年4月に始動した継続プロジェクトです。稽古場訪問やインタビューを基盤に、数々のイベントを盛り込みながら、リサーチと実践を往復します。2013年に5年目を迎え、3名の演出家、振付家、現代美術作家らが「新長田で踊る人々」と出会いながら、新たな舞台作品をつくる試みを始めました。今回はその中で筒井潤との試みを中心に、「新長田のダンス事情」における試行の軌跡、「踊り」や「ダンス」にまつわる様々な事情を現前させる試みです。



『Aomori, Aomori』

青森プロジェクトは、ウェールズ（イギリス）の振付家 / ダンサーのショーネッド・ヒューズと青森の踊り手、演奏家たちとともに作り上げてきた、2008年から継続しているワーク・イン・プログレス・プロジェクトです。青森での滞在制作を基盤としながら、毎年さまざまな場所・地域の人々とのワークショップを行いながら、場、風景をともに作り上げることを続けています。2013年、新たな試みとして、青森、陸前高田、いわきの東北各地でのリサーチ、共同制作を行いました。人、風景との出会いの記録、記憶が、ダンスを通してここに再現されます。



よこぼり ふみ NPO法人 DANCE BOX プログラム・ディレクター

1978年奈良県生まれ。1999年よりDANCE BOXに関わる。2006年度文化庁新進芸術家国内研修制度研修員。2008～2009年ACC (Asian Cultural Council) のフェローシップによりアジア6カ国とNYで舞台芸術の実態調査を実施。Art Theater dB神戸を拠点に「ダンス」「地域のコミュニティ」「劇場」を結ぶプログラムを試行しながら、主にアジア間におけるネットワークの構築を目指している。

大平勝弘ディレクション

伊藤キム×山下残 タイトル未定

2/11 (火・祝) 19:00 | 2/12 (水) 16:00 | 2/13 (木) 19:00 @STスポット



90年代以降の日本のダンスシーンを率先し、2005～2006年にはバックパッカーとして世界を旅した後、突如自分自身での作品の創作を止めると宣言した伊藤キムと、関西を拠点にして独自の方法に基づく創作を続け、ここ数年はSTスポットでの発表が続いた山下残。このふたりが社会に漂う言葉と動きを採集し濃密な時間と空間を紡ぎ出します。

白神ももこ×酒井幸菜 『Stick & uS!!』～私たちと棒～

2/15 (土) 17:00 | 2/16 (日) 14:00 / 18:00 @STスポット



©Kazuyuki Matsumoto

創作における座組や物理的要素をシンプルにし、作品の機動性を高めると共に、観客はもとより、創作する側にもダンスそのものを楽しんでもらうことと、その内容については動きの動機を外側に持つということを大切に、広く他者へ侵入していけるような作品となっています。本作は、それぞれが振付家としても活動している二人が互いにソロを振り付け合い、2013年10月に神奈川芸術劇場にて発表しました。今回はその作品を更に深め一つの世界観を提示します。



おおひら かつひろ STスポット館長

1971年大阪府生まれ。大学助手、専門学校講師を経て、2006年より「STスポット」勤務、「急な坂スタジオ」立ち上げに参画。2008年よりSTスポット館長。コンテンポラリーダンスを中心に公演企画、及び若手アーティストの育成、観客創造のためのワークショップ構築に従事。また近年はアーティスト・イン・レジデンスなどの国際交流事業も手がける。

宮永琢生ディレクション

【展示・無料】

濱田英明 (写真家)、瀧澤日以 (服飾デザイナー)、柴幸男 (劇作家、演出家)

『「演劇」という名の展示』

2/11 (火・祝) ～2/16 (日) @ヨコハマ創造都市センター(YCC)



©Hideaki Hamada

【濱田英明】

写真は未来への贈り物です。あなたが見ているレンズの先には未来の誰かが覗いています。これは写真の展示という形式を借りた「演劇」です。

【瀧澤日以 (PHABLIC×KAZUI)】

衣服はそれぞれ物語を持っています。その服を着れば誰でもその物語の主人公になれるのです。これは衣服の展示という形式を借りた「演劇」です。

【柴幸男 (ままごと)】

あなたに訊きたいことがあります。その質問に答えは必要ありません。これは言葉の展示という形式を借りた「演劇」です。



みやなが たくお 制作者・プロデューサー

1981年東京都生まれ。企画制作・プロデュースユニット「ZuQnZ (ズキュンズ)」主宰。2007～2011年、劇団青年団にて本公演および関連公演の制作に携わる。2009年に柴幸男と共に「ままごと」を立ち上げ、製作総指揮&プロデューサーを務める。他に黒川深雪 (InnocentSphere) とのユニット「toi (トイ)」のプロデュース、音楽ユニット「□□ (クナクロ)」のライブ企画制作など。

インターナショナル・ショーケース

世界各地にネットワークを持つ各国の文化機関や団体と協力し、海外で活躍する注目アーティストや作品をいち早く紹介するプログラムです。舞台芸術の国際的なプログラムに関わる「つくる人」はもちろん、海外のトレンドをいち早くキャッチしたい「みる人」のための公演プログラム。

フィンランド

エルヴィ・シレン 『KITE』
坂本公成 『灰が降る』
2/16 (日) 15:30
@KAAT神奈川芸術劇場大スタジオ



©Uupi Tironen

フィンランドと日本のダンス・アーティストが、互いに影響を受け合い、それぞれのクリエイティビティを深め、作品制作をおこないました。ヘルシンキにある先駆的なダンス・オーガニゼーションZODIAKとJCDNの共同製作作品。

主催：NPO法人Japan Contemporary Dance Network(JCDN)、Zodiak-Center for New Dance、国際舞台芸術ミーティング in 横浜2014実行委員会

韓国

チョン・ウニョン
『(Off)Stage / Masterclass』
2/15 (土) 17:30
@KAAT神奈川芸術劇場 ホール



主催：PARC-国際舞台芸術交流センター

1950年～60年代に人気を博したヨソン・グックは女性だけで実演される“chang”(=歌)と”mu”(=踊り)による韓国の伝統芸能。ヨソン・グックが生まれた初期から実際にパフォーマーとして活躍している女性が当時の体験談とデモンストレーションをする第一部と男性役の動きのモチーフを中心に特徴的な舞踊の様式を実演する第二部の二部構成。

フランス

【無料】
話し言葉の百科全書/ジョリス・ラコスト
『コラル』

2/13 (木) 16:00 / 19:30
2/14 (金) 16:00 / 19:30
@KAAT神奈川芸術劇場 (劇場内)



©Herve Veronese

話し言葉の多様な形式に捧げられた、詩的で、生き生きとした、変容するオード。重なり合う複数の声が、さまざまな話し言葉の形式的構造を明らかにし、話し言葉によるアンサンブルを生み出します。日本バージョンが、世界初上演されます。

主催：アンスティチュ・フランセ、国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2014 実行委員会

中国

【無料】
シャオ・クウ&チョウ・ツウ・ハン
『We apologize to inform you』



※詳細決まり次第
ウェブサイトで発表

TPAMショーケース

公募で集まった熱意あふれる気鋭カンパニー！

TPAM期間中に横浜・東京エリアで公演を行っているカンパニーが、自発的に集まった個性あふれるショーイングプログラムです。今回は、25団体が集まりました。予測不能の公演がTPAMを盛り上げます！

参加団体

鮭スベアレ/オペラ・シアターこんにやく座 /マドモアゼル・シネマ/86B210/

革命アイドル暴走ちゃん/Co.山田うん/シアターカンパニー・アリカ/モモンガ・コンプレックス

振子ぴじん/鈴木優理子+ファン・スヒョン/マームとジプシー/カタルシツ/ピーピング・トム/

倉持裕/MOKK/木野彩子/きたまり&NPO法人Offsite Dance Project/AAPA/

minamoxバストリオ/クラウン__ショー副交感神経/momirozousan/ビルヂング/かえるP/

ロバート・テューズリー、酒井はな、森山開次、津村禮次郎、デワ・アリット、

アレッシオ・シルヴェストリン

プロフェッショナル向けのネットワーキング・プログラム

海外から約150名、国内から約500名の舞台芸術関係者が参加する、TPAMならではのプロフェッショナルのためのプログラムです。

※TPAMエクステンジは一般のお客様はご参加できません。日時等の詳細はウェブサイトをご覧ください。

TPAMエクステンジ

舞台芸術関係者がお互いの活動や作品、プロジェクトなどを紹介しながらネットワークを広げることができるプログラムです。あるテーマについて複数人と話し合う「グループ・ミーティング」、1対1で出会う「スピード・ネットワーキング」があります。

舞台芸術AIRミーティング@TPAM 2014

舞台芸術のアーティスト・イン・レジデンス (Artist in Residence/AIR) に取り組む専門家やアーティストを集めて、ネットワークを構築するための交流プログラム。

主催：PARC-国際舞台芸術交流センター 平成25年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業

舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)

舞台芸術と社会を繋ぐ全国的・国際的な会員制ネットワーク「舞台芸術制作者オープンネットワーク」の総会、報告会、シンポジウムを実施します。

主催：舞台芸術制作者オープンネットワーク

BUHNE FREI! (ビューネ・フライ)

ビューネ・フライとはドイツ語で「さあ、舞台へ!」という意味。ドイツのパフォーミングアーツの分野で活躍するアーティストたちとの交流の場。

主催：ドイツ文化センター

チケット

取扱

- チケットかながわ (1月25日発売)
- 窓口：KAAT神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂
- TEL: 0570-015-415 (10:00~18:00)
- WEB: www.kanagawa-arts.or.jp/tc/
- *大平勝弘ディレクション：STスポットで取り扱い
- TEL: 045-325-0411
- WEB: stspot.jp
- *TPAMショーケース：各公演のチケット取り扱い先でお求め下さい

料金

- ・TPAMディレクション、インターナショナル・ショーケース **各公演¥2,000**
- ・TPAMショーケース 各公演のチケット取扱先でお求め下さい

チケット発売日

1月25日 (土) 10:00

☆舞台芸術に携わるプロフェッショナルの方は参加方法が違います、

TPAM参加登録料 ¥3,500

⇒1演目¥1,500/3演目以上定額 ¥4,000、ホスト登録料¥5000~

詳細はTPAMウェブサイトをご覧ください

TPAM概要

会期 2014年 2月8日 (土) ~2月16日 (日)

会場 ヨコハマ創造都市センター (YCC)、KAAT神奈川芸術劇場、BankART Studio NYK、横浜赤レンガ倉庫1号館、STスポット 他

主催 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2014 実行委員会 (国際交流基金、公益財団法人神奈川芸術文化財団、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、PARC - 国際舞台芸術交流センター)

協力 BankART Studio NYK、(公財) 横浜観光コンベンションビューロー、STスポット

後援 横浜市、神奈川県

ウェブサイト www.tpam.or.jp

プログラム詳細や、最新情報はウェブサイトを御覧ください